

BAクリエイターズサロンは、NPO 法人ブロードバンド・アソシエーション (BA) が主催するレクチャーです。毎回、第一線で活躍中のクリエイターをお招きしています。 座長：為ヶ谷 秀一顧問(女子美術大学・評議員)

講師

やまざき かずや

山崎一也氏

建築家 山崎一也建築設計事務所代表

テーマ

「世界中のメディアへ見得を意識したロンドン五輪競技場 - 成熟都市五輪。ロンドン2012から東京2020へ -」

2020年夏、東京に五輪がやって来ます。その時、競技場建築、街の様子はどのようになっているのか？私たちはそのヒントを同じ成熟都市で開催したロンドン五輪に見つけることが出来るはず。私、山崎一也は2001年から2012年までの12年間、英国ロンドンで建築設計士として働きました。その勤務先の一つであるアライズアンドモリソンアーキテクトで一連の五輪プロジェクト（誘致のメインパークのマスタープラン計画(2003-2004)、大会後のメインパーク、ロンドン東部地区の活用方法を考えるレガシ-マスタープラン計画(2010-2011)、そして世界遺産であるグリニッジ公園を敷地とした馬術&近代五種競技場の設計現場監理業務(2012))に携わりました。

サステナブルな五輪競技場に関わる建築設計士として、また五輪という祭りの高揚感を市民として経験しました。ロンドン五輪成功の鍵は分野を横断して計画されたことにあるのではないかと分析しました。全世界へと配信されるテレビ、ディスプレイ、そしてスマホへの“見得”を意識した競技場の配置計画と共に、歴史的観光都市であるロンドンの街並みを“借景”としたBBCをはじめとした現場のカメラワークがありました。競技場建築を“脇役”として扱う、メディア（媒体）として扱った話を私が担当したグリニッジ馬術競技会場と共にお届け出来ます。

スライドショーと共にロンドン五輪を振り返り、2020年の東京五輪に向けて議論をするならば、日本オリジナルの成熟都市五輪計画のヒントになるはず。是非ご参加ください。



Photo: Sun Gil Yoo

講師プロフィール

www.linkedin.com/in/yamazakikazuya

1974年東京都出身。芝浦工業大学大学院修了。レイモンド設計事務所を経て、2001年単身渡英。観光ビザから500社以上の就職活動。ヘイクス アソシエイツ勤務時にワイカラービクターセンターに関わり RIBA 賞入選。アライズ アンド モリソン アーキテクト勤務時に欧州最大級のハブ駅キングスクロス セントバンククラス地下鉄駅 (ICE Awards 2010, National Rail Awards 2010 受賞) の設計現場監理担当。ロンドン五輪&パラリンピックでは招致マスタープラン模型、レガシ-マスタープラン、グリニッジ公園馬術競技場の現場監理に関わる。2013年1月、日本に帰国。東京に建築設計事務所を設立。

個人活動として、第243回立アカデミーサマーエキシビション入選。イタリアベネトン店舗コンペ入選。岐阜高山日進木工と協働で積み上げ椅子 seed seat 発表。取手アトトリエンナーレ 2000 で民家をアート作品として改修。大阪五輪 2008 招致活動で戎橋筋にオブジェ展示 (DDA 賞) など受賞多数。講演、執筆多数。インタビューでロンドン五輪計画などを通して成熟社会での建築の役割を伝えるだけでなく、聞き手や通訳としても建築的メッセージを引き出す。女子美術大学 (2015-) や芝浦工業大学 (2007-2012) で非常勤講師。

■日時 = 2015年 7月3日 (金) 19:00~21:00 (18:45開場予定)

■会場 = 東放学園 キャリアサポートセンター 清水橋校舎2F セミナールーム
(東京都渋谷区本町3-40-6) ■都営地下鉄大江戸線『西新宿五丁目駅』下車A2出口

■参加費 = 一般 1,000円 / 学生 無料

■定員 = 50名

お申し込みはこちらから

BAクリエイターズサロンの目的

情報基盤であるブロードバンドによって、21世紀型サービス、ビジネスを創出する時代、コンテンツが主役の時代を迎える。

BAクリエイターズサロンは、デジタルコンテンツに関係する経営者、管理者、クリエイティブ部門担当等を対象とし、次世代を担うクリエイターをお招きして、ブロードバンド時代のデジタルコンテンツ・クリエイターの育成・支援を目指した、産・官・学の交流の場として開催しています。

